

## 2017（平成29）年度 事業報告書（要約）

2017年1月24日から2017年12月31日まで

当会の設立概要、設立の経緯と背景、事業報告等の詳細は事務局でもご案内させていただきます。

### 1. 2004（平成16）年 江戸城再建運動スタート：

当会は、2004年に始まる、江戸城・天守を都市東京のシンボルとして再建することを目指した12年に亘るNPO法人としての市民運動の歩みを経て、2015年並びに2016年のNPO法人の通常総会の審議決定を受けて、会員及び一般市民の多くの賛同とご支援を背景に、2017（平成29）年1月24日、NPO法人の前役員などにより、公益財団法人を目指す新事業主体として、一般財団法人江戸城天守再建ルネッサンス（略称）を設立致しました。

財団設立にあたり、支援者や市民はもとより、法人、篤志家、ボランティア等のみなさまの暖かいご支援・協働に改めて、深く感謝を申し上げます。この間に寄せられた多くの皆さまの浄財（会費と寄付等）は、およそ1500万円に上りました。重ねて篤く御礼を申し上げます。

本年10月、「江戸東京・歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画（案）」を策定し、セミナーや報告会を開催する等、会の基本情報やニュースと共に、ホームページやフェイスブックで広く社会一般に公開を致しました。江戸城天守再建から江戸城全体を対象とする下記の基本計画には多くの皆さまから、賛同・支持の声が寄せられました。

### 2. 江戸城天守再建から天守・本丸御殿等の江戸城全体の復元に向けて、

#### 江戸東京・歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画（案）策定

基本構想・江戸城天守再建事業と歴史文化まちづくりを国家的事業であるとの観点から、様々な角度から検証を行い文化庁や関係官庁をはじめとし、学識者、市民、産学官民などとの意見交換を重ねて参りました。世界遺産に十分に匹敵し得る皇居東御苑に、文化遺産として国宝の台座の上に江戸城天守を単体での復元は、極めて難題であり、学識者を含めた広範囲な合意形成が困難であるとの認識に至りました。問題の核心は、内外の環境変化を踏まえ世界的な潮流である持続可能な観光・歴史まちづくりをテーマとする首都東京の歴史と文化に光を当て、江戸城・城下町を再評価し、価値を明確化した上での今日的意義による世界的な合意形成・メッセージが必要であるとの認識に至りました。世界が評価する文化遺産を目指し、歴史上、初の本格的な学術・調査、検討、提言活動に向けて、2017年10月「江戸東京・歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画（案）」を策定致しました。

### 3. 財団法人の運営に関する事項

設立以来、公益財団法人を目指すべく、法人の広報や情報管理、事務局の基盤整備、ガバナンス等の基盤整備を進め、法人自治、役員の自己責任経営の在り方を模索し、定款に基づく各機関の役割・分担を明確化しました。公益目的事業と事務局基盤整備の事業支援の仕組みづくりなどの取組みを進めました。定時評議員会（年1回）、理事会（年4回）、常務会（適宜開催）、企画・事務局会議（週1回の定例化）による企画・事務機能の拡充などが定着しつつあり、今後は、執行役員制度もスタートし、学生や女性、高齢者などの多様な人材の活躍が期待されます。